



社会福祉法人さざんか会法人広報誌『おーぷん第82号 2019秋』

発行：さざんか会法人本部/船橋市行田 2-8-1/☎047-404-1135

編集：おーぷん編集委員会/けいよう/船橋市二和西 5-10-1/☎047-411-8177

今年7月に行われた参議院選挙において、2名の障がいのある人が当選、参議院議員にられました。  
この男女各1名の議員さん、お一人は筋萎縮性側索硬化症(別名ALS)という難病の方であり、今日の医学を以てしても、未だその発症原因を明らかにすることができないようです。  
運動神経に障害を来すこの病は、進行に伴い自分の意志で体

を動かすことが難しくなり、歩行ができなくなります。また、口や喉が動かなくなると話す、食べるといった行為も困難になります。さらに、自身で呼吸することもできなくなり、人工呼吸器が必要な状態となります。こうして、生活の全般に医療的行為も含め、介助が要されます。  
もうお一人は、生後間もなく歩行器ごと転倒され、頸椎を損傷。重度の身体障害を負われました。

# 当事者であること

社会福祉法人さざんか会  
理事長 宮代 隆治

## おーぷん82号目次

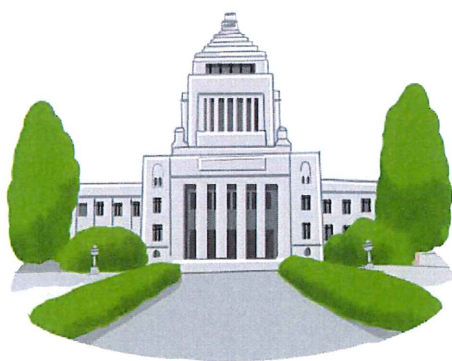
P1 「当事者であること」  
さざんか会 理事長 宮代隆治

P3 北総だより  
緊急報告(台風被害について)  
・北総育成園  
・笹川なすな工房

P6 各事業所夏だより  
・のまる  
・けいよう  
・カメラアハウス  
・ゆたか福祉苑  
・とらのこキッズ  
・さざんかキッズ  
・魔法のランプ  
・DD&のまのまホームズ

P10 後援会だより

P12 特集ページ  
船橋市内おすすめ散歩めぐり





電動車いすを操作する以外は、ほぼ生活全般に介助が要される状態のようです。ここまで、重い障がいのある方が国会議員になられることは、世界的にも稀有のよう。

この方々が議員活動に当たられるとき、様々な解決すべき課題が露呈しました。まず、ハード面で議場への入退場について、車いすでの移動が困難でした。議場に占める車いすスペースについて、従前のままでは用を足せません。これらについては、早急に改修工事が行われ、解決が図られました。



さらに注目されたのが、議員活動に伴い並行しての介助が必須となります。移動はもとより、意思の疎通にしても介助者を要してのコミュニケーションが不

可欠です。この時、この介助に要する費用の負担は誰が担うのか。

お二人は重度訪問介護サービスをを使って生活していらっしゃる。このサービスは、入浴や排せつ、食事等の介護と調理や洗濯、掃除等の家事を援助。併せて、外出時の移動中も介護もを行います。ただ、経済活動における介護はこのサービスの範疇ではありません。議員活動は経済活動となりませんので、もしヘルパーさんを頼むとすれば、全額自己負担となってしまいます。それは結構な高額となってしまいます。この問題について、議員活動に伴い介護に要する費用については、参議院が負担することになりました。この他、移動用車両の確保であるとか、今までなかった配慮が為されることとなりました。

このように様々な場面で、文字通り合理的配慮が求められ、障がいのある人の政治活動参加への改善が図られていくことでしょう。同時にこのような意見も出てくることでしょう。「特別扱いでは」、「議員としての収入があるのだから、自己負担しても良いのでは」等々。お二人の思

いは、損得勘定や目先の利害からではなく障がいのある人の社会参加という観点から発しているのでしょうか。議員である私もそうですが、障がいのある全ての人にとっての思いからです、障がい当事者の思い、その重みを感じざるを得ません。

長年この仕事に従事して、当事者性、その重さに打たれたことがあります。入職間もないころ、「母よ殺すな」という本を読みました。

半世紀も前、横浜で脳性麻痺の我が子を母親が絞殺するという凄惨な事件が起きました。すると、この母親への同情からでしょう、減刑嘆願運動が起きました。これに対して、自身も脳性麻痺者である著者は「重度障がい児に生きる権利はないのか」、

「罪は罪として裁け」と真っ向から反対されました。「施設があれば…」という意見にも異を唱え、隔離収容ではなく、「街に出る、そしてありのままをさらけ出す」ということを通しての運動が展開されました。これらの主張や運動は当事者による、真の共生社会の実現を目指してのものでした。

減刑嘆願運動の根底に、優生思想の萌芽を見ていたのでしょうか。殺される側の論理、障がい故に殺される、「仕方がない」と納得する本人がいる筈はありません。

踏まれた痛み、本人にしか分からないことがあるのでは、と思っています。先述のお二人の議員さんはこれから、当事者として様々な場面で活動されることでしょう。その視点は重障がいのある当事者として。当事者でなければ分からないこと、当事者であるからこそ主張できること、注視していきたいと思えます。この国の障がい福祉がどこに向かうのか、共生社会実現の道標を見出せるような活躍を期待しています。





# 「緊急報告」北総の里より

## 台風15号による被害について

北総育成園 副園長 白樫 久子

9月9日未明に千葉県に上陸した台風15号による停電断水・交通機関の麻痺・倒木・家屋損傷他の被害は甚大で、いまだ復旧していない地域も多くあります。北総育成園も4日間の停電により非常生活を余儀なくされました。電話もつながらない中、保護者の皆様、関係者の皆様には多大なご心配をおかけしましたが、利用者さんは全員無事で、大きな建物被害もなく乗り越えることができました。

9月9日(月)

未明より風雨強まるが、館内には影響なく朝を迎えた。6時過ぎ停電、自家発電装置作動し最低限の電気のみとなる。暴風雨で出勤できない職員もあり。館内放送にて利用者さんに自室

で待機するようお願いする。8時園長・上席職員打ち合わせ。電話・パソコン不通。園の携帯電話のみ通信可。自家発電装置が頼り、軽油給油確保の確認。体調崩した利用者はいない。8時50分やっと配膳ができたが停電の為本日は館内待機。利用者さんの安全確保を第一とし、男子職員中心に外回り確認片付け、特に作業場周りの動線の確保を主とする。9時、宮代理事長・船橋市障害福祉課へ、台風被害状況を報告。猛暑、エアコン不可。水分補給・風通しに配慮して過ごす。園長命令にて、休日職員へ非常呼び集し6名の職員が駆けつけてくれた。

昼食、厨房内も電気不可。佐藤栄養士とメニュー変更し使い捨

て容器を使用する。午後、1名点滴通院。他の利用者は落ち着いて過ごしている。職員は外回り片づけ。ビニールフレームや作業場の屋根は剥がれ、ゴルフポストや樹々が倒れ散乱。



中々手強く大仕事であった。本日は電気復旧見込めず、備蓄倉庫より「非常食」を本館に搬入する。夕食、非常灯のみの食事。懐中電灯やランタンを使うが暗い。日勤職員も手伝っての夕食。初めて、非常食を使用する。袋入りのアルファ米(お湯を注いで15分、ドライカレーやチキンライス、五目御飯、赤飯、白かゆなど)、手作り白菜団子汁、水分

補給にしっかりと配慮する。夜間、非常灯と懐中電灯のみで、移動やトイレ介助も苦労した。

9月10日(火)

停電復旧の見通しがつかない。情報が十分に入らない。本日も作業ができません。職員全員が利用者さんに丁寧に関わってくれるものの、改めて毎日の作業の大切さを実感する。高齢者重度者3名、本多病院に通院(体調管理・点滴)。昼食、本館食堂は電気つかず暗い為、テーブルを廊下に出して一列で対応。





タバと同じアルファ米だが、味もよく職員にも好評。量も多い。厨房はエアコンなく暗い中（扇風機と投光器1台は非常電源確保）、できる限り努力をしてくれた。

午後、歯磨き・休憩。衛生管理に十分配慮する。洗濯機使えず、2日分の洗濯物がたまった。園近くのコインランドリーに女子職員が往復して対応。半日がかりで終わることができた。



通所者・短期入所者予定宅に、非常時で受け入れができないことを連絡。

夕食はカレーライス（ご飯はガス台で炊く）。皆大喜び。使い捨て容器は食べづらいので、厨房職員が通常の食器を用意してくれた。食器洗浄機も使えない中の配慮である。夜は、明かりがなくテレビも見られない。早めに就寝していく方がほとんどだが、中には普段と違う状況に、なかなか寝つけない人も数名いた。



9月11日(水)

千葉県内の停電数は60万件以上。園の近くで東北電力の車を見かけるので期待するが、東庄町の停電数は依然2200件と変わらない。昨夜の落雷から、電気復旧予定が遠のいたとの発表あり。

本日も猛暑、館内で過ごしていることへの疲労もみえてきた。職員が笑顔と落ち着きをもって関わり、声掛けを大切に連携して対応すること、健康と衛生管理を第一にすることを確認する。

午後のシャワー浴、厨房の大鍋に湯を沸かし、男子職員が2階と3階の風呂に何往復も運んでくれて、湯浴び。エレベータ使えず大変だったが皆さっぱり笑顔でした。

おやつは、アイスとコーラ。冷蔵庫・冷凍庫使えないため、クーラーボックスで買いに行きすぐに皆で食べ、甘い一涼に一心地つく。船橋市障害福祉課4名来園。非常食・保存飲料水・ソフト缶パン、コードリールなど物品を運んで下さる。

9月12日(木)

今日はマイクロボス2台でドライブに出る。少しは気分転換になったようだが、やることがない生活はやはりつらい。

朝から自家発電装置の不具合があり、非常電源や水道もとまる。契約電気業者に来てもらい、復旧するも夕方また不具合。夜間切れた場合を想定して、発電機にて館内動線に電球をつなぐ。

各トイレにもバケツで水を汲み置きする。テレビやメールで東庄町、北総の災難を知って、近隣の施設が、非常用の飲料水をたくさん届けて下さった。

夜20時半過ぎ、自家発電装置が作動しなくなり、館内真っ暗になった。勤務者で、廊下に懐中電灯や発電機の電球を用意。緊張の一時半。22時過ぎ、ついに電気が復旧した。職員は大喜びしたが、利用者さんは全員寝ていてその時点ではあまり反応はなかったとのこと。

9月13日(金)

昨夜から停電が復旧し、朝園長との打ち合わせの上、安全面に十分留意して本日より作業開始とする。1週間作業できず、農耕など遅れている大根の種まきに応援体制を入れて取り組む。

8時半、宮代理事長、船橋市障害福祉課、井上保護者会長に復旧の連絡。

午後は、非常物品（非常食・投光器・発電機・コードリール・バケツ・水タンク他）を整理整頓、片付け。館内掃除を徹底的に行う。食堂テーブルいすなどの片づけ等。



7年半前東日本大震災時、電  
気は翌日に復旧したが、水道は  
2週間以上使えなかった大変さ  
があった。今年の台風災害では  
4日間の停電に生活の多くが制  
限された。また多くの職員の自  
宅も停電断水・床上浸水他の被  
害があった。多くの大切な命を  
預かる入所施設として、今回学  
んだことを整理して今後に備え  
てまいります。

関係各位皆様より多くの励ま  
しとご助力頂きましたことに心  
より御礼申し上げます。今後と  
も保護者の皆様、関係者の皆様  
のご理解とご支援のほどよろし  
くお願い申し上げます。



## 『災害に備えて』

笹川なずな工房

施設長 荒井 道貴

台風15号と19号。大型で非常  
に強い台風が立て続けに襲来し、  
全国に大きな被害をもたらしま  
した。最近では「史上最強の」と  
か「かつてない」という冠詞がつ  
く異常気象が多くあります。こ

れは地球の温暖化がもたらすこ  
とは間違いありません。脱炭素  
社会に変えていかねばならない  
のですが、現実には自動車で移動  
し、夏はエアコンが必需品であ  
る現実も見据えなくてはいいけ  
ません。近場の移動は歩く・耐えら  
れる暑さは団扇を使うなど省工  
ネルギー心がけるなど小さなこ  
との積み重ねが必要なかもしれ  
ません。

台風15号は風の影響が強く、  
4日間の停電が一番の影響を受  
けました。当施設では6名の利  
用者が電車利用なので、停電す  
ると自動的に通ってることが  
できません。また作業はストッ  
プです。そのため最初の2日間

は休業しました。3日目は開所  
したのですが、下水浄化槽が使  
えず4日目は休所せざるを得ま  
せんでした。北総育成園から発  
電機を借りて正常化しました。

また一番の心配はジャムの原  
料の冷凍したイチゴです。冷却  
が止まり解凍してしまつたら、  
廃棄するしかなく、以降来年ま  
でジャムの生産はできません。  
近隣の精肉業者さんが心配して  
くださり、東庄役場を通して冷  
凍庫の使用の申し出がありました。  
結果としてイチゴの移動は  
せず品質保持が出来ましたが  
近隣からも御配慮をいただけ  
たことはありがたいことでした。

台風19号は、洪水の心配です。  
当施設は利根川から約3キロメ  
ートルしか離れておらず、利根  
川が氾濫したらひとたまりもあ  
りません。幸い今回こそ水害は  
逃れましたが、常に危険と隣り  
合わせです。また、利用者職員の

自宅が河岸にあつて危険な家庭  
もあります。私の家も北は利根  
川、東は黒部川、南は小堀川と三  
方が河に囲まれています。13日  
の夕方に避難勧告が出ました。

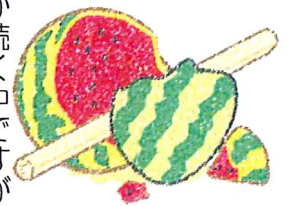
しかし妻は身体に障害があり、  
避難所への避難は難しいものが  
あります。そのため妻は「どこに  
も行かないことで死ぬ」と大声  
を出し、子供は「とにかく逃げろ」  
と怒鳴ります。その間で私はウ  
ロウロするばかりです。結局息  
子が妻を連れて（ほとんど拉致  
の状態）、安全な娘の家で一泊  
しました。それでもバリアフリ  
ーでない場所での生活は不便で  
した。

避難勧告が出ても実際は障害  
を持つ人が避難所に退避するこ  
とは大変な困難があります。そ  
の人の状態にあった場所に避難  
する必要があります。「備えあれ  
ば患いなし」の言葉通り普段か  
らの備えが必要です。様々な災  
害に対して普段からどこなら避  
難出来るか。また必要な物品の  
用意など、日頃からの検討・準備  
をしなくてはいけないと実感し  
ました。



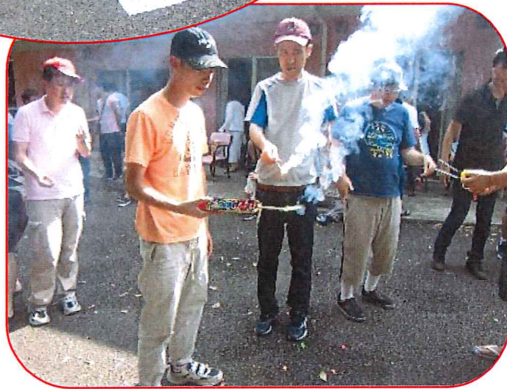
# のまるる

夏だより



梅雨も明け暑さが本格的になり、寝苦しい日が続く中ですがそんな暑さを吹き飛ばすかのように、のまるでは毎年恒例の夏祭りを開催しました！今年も利用者さんの開会宣言から始まり、スイカ割りを楽しんでいます。冷たくて甘いスイカとジュースも皆で美味しくいただきました！

水風船を使用し、スタップに付いている紙風船をめがけて投げるユニット対抗ゲームでは、皆さん大興奮な様子でした☆最後に手持ち花火と噴射花火を見て大盛り上がりなイベントになることができました！ また来年もお楽しみに！



# けいよう



6月から7月にかけて外出事『お茶会』がありました！午後活動の時間を使ってファミレスやカフェに行っています。メニューを見るなり食べたい物が沢山ある様子。悩みながらもとても楽しそうに選んでいます！今回はそんなお茶会の様子を一部紹介します。

大きなコップに入った飲み物！  
冷たいものも温かいものも美味しいです！



昼食の後ですが、  
甘いものは別腹です！





# カメラリアハウス

★恒例！一泊旅行



7月8日(月)・9日(火)に恒例の一泊旅行にA、Bグループが行ってきました！

今年度は、埼玉、山梨方面へ♪ 一日目は、埼玉県のサイボクハムでおいしいお昼を食べ、いざ！ムーミンバレーパークへ！ムーミンに会え皆さん楽しめたようです。二日目は山梨で信玄餅の工場見学にはじまり、山梨県立リニア見学で楽しめました。盛りだくさんの日程で旅を満喫しました。

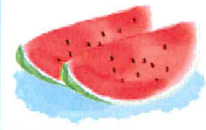
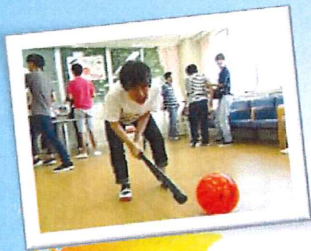


★カメラリア夏祭り♪

昨年に引き続き、8月の土曜開所日に夏祭りを行いました！今年も大盛況でゲームや美味しいかき氷などを食べ楽しい時間が過ぎていきました。

# ゆたか福祉苑

今年の夏は、どのようにお過ごしでしたでしょうか？今年の夏も暑く、散歩へ出掛ける際にはタオルは必須となりました。ゆたかでは『夏らしいことを！』ということで、班によっては、『スイカ割り』(スイカに見立てたビーチボール)をした後に本物のスイカを食べたり、他班と合同で『かき氷』を作ったりと夏の雰囲気を楽しみました♪





# とら の こ キ ャ ャ ャ

## 夏の思い出



暑さも少しずつ和らぎ、過ごしやすい気温になってきましたね。秋号では、厳しい暑さに負けず楽しんで夏の思い出を紹介します！

7月は、毎年恒例の夏祭りがありました。今年は、段ボール迷路やゲームコーナー、ボールコーナー、きらきらなお部屋、製作（うちわ作り）、事業所販売と盛りだくさんな内容を室内で行ないました。普段と異なる園の雰囲気緊張するお子さんの様子もありましたが、ご家族やお友達、保育者と一緒に夏祭りをとびっきり楽しみました。



8月は、土曜参観がありました。さくら組といちご組は『ミニ運動会』、こあら組は『泡スライムやプール』と体を動かした活動を行ったり、みんなで給食を食べて楽しい一日を過ごしました♪

今年度も半分が過ぎましたが、まだまだたくさん行事や活動を体験していきながら思い出をたくさん作っていききたいと思います!!



## さざんかキッズ



秋らしい日が増えてきましたね。さざんかキッズの子ども達もますますパワーアップした毎日を送っています。さて、ここでは夏の思い出を振り返ってみたいと思います。



梅雨が明けたら夏本番！プールに水やどろんこ、ボディペインティング等、夏ならではの遊びをたくさん経験しました。最初はちょっとドキドキだった子も少しずつ慣れて、ダイナミックに楽しむ姿が見られていました。

7月20日に夏祭りが行なわれました。スタンプを押して巾着を作ったり、ヒンヤリスライムや風船の感触を味わいました。毎回人気のまっくらの部屋やボウリングも大盛況！楽しい一日になりました。





## 魔法のランプ

こんにちは。お久しぶりでございます。皆様、いかがお過ごしでしょうか？

先日の台風15号と19号の影響は、いかがでしたか？実はランプは、設置していた（ただ置いていただけ）網状の鉄製のゴミ箱が5メートルほど飛びまして、停めてあった公用車に激突して、後方のバンパーを破損してしまいました。

すぐに足元を鉄杭で止めたので、台風19号の時は何事もなく済みました。

停電などはいかがでしたか？

薬田台付近は、何も影響ありませんでした。しかし、周囲を車で走ってみると風で煽られた大きなビニールハウスが飛び、電柱をなぎ倒し、道を塞いでいて驚きました。おそらくその周囲は停電していたかと存じます。数日間そのままの状態でしたが、現在は撤去されています。本当にすごい台風で、皆様の周囲でも被災された方がいらっしやるかもしれません。お見舞い申し上げます。

さて、ランプご利用者各位には既にご案内の通り、事業の規模を縮小させることとしました。ご利用者各位には、ご不便をお掛けすることもありますが、何卒ご寛容下さい。ランプが行なってきたサービスは障害のある方の地域生活にはなくてはならぬものと心得ます。今後、一層運営の合理化や効率化等を検討しながら

進んで参ります。

近年、福祉事業の遂行について「運営から経営へ」とは度々耳にするところです。「官から民へ」であるとか「多様な事業者の参入」、「日割り制度の導入」等制度

変更の中で叫ばれたものです。

福祉事業は利益至上ではないのですが、安定、継続した事業を遂行するに、収支をより重視することが求められるのは事実です。

管理者としての職責を鑑みながら、なお一層の努力の必要を痛感しています。

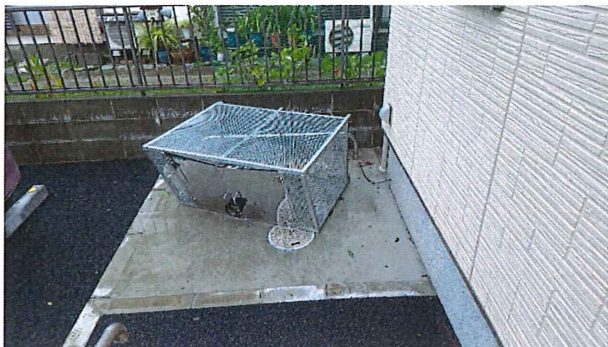
さて話は変わりますが、先日、「新宿」まで、ご利用者様と出かけたのですが、その方は大きな店でDVDを購入したいとのことご希望でした。大都会であれば、何でもあるというお考えのようで、新宿に向かいました。私はプライベートでも新宿まで行くことはありません。久しぶりに行くと本当に刺激が多く、ついつい目移りしてしまいます。田舎者ですね。

新宿は変化が激しく、以前に入っただ店が潰れて、探し回ってしまいました。

その方は、新宿への行き方を工夫して、総武線1本で行けるところを秋葉原駅で山手線に乗り換えて、今度できる新駅「高輪グートウェイ駅」を通って行くのです。皆さん、路線が詳しくて感心します。私以外のスタッフは、水上バスや東京のコミュニティーバス、都バスを乗りこなし、ただただ感心するばかりです。

私は、やはり静かな山や森などがあつたほうが安心できますが皆様が東京に行かれる事がありましたら是非楽しくお過ごしください。

(山田)







今回のホーム便りはのまのまホームズで避難訓練を行いましたのでその様子をお送りしたいと思います。

まず、入居者の方々に訓練の内容について説明を行い、ヘルメットを被っていただきました。そして、可能な方はテーブルの下などへ安全確保のため身を隠していただき、地震が収まったら外へ出るという流れで訓練を行いました。



今回は地震を想定した避難訓練を行いました。

何事もないことが一番良いのですが、今回の訓練で改めて有事の際の行動を確認する大切さを学べましたので、今後役に立てていきたいと思っております。



## 後援会だより

令和元年6月4日(火)、薬円台公民館にて令和元年度さざんか会後援会総会が行われました。総会の後、午後の部として行われ、はじめ、各事業所のかみ宮代理理事長をはじめ、各事業所の管理者の方々とのシンポジウムについて報告します。

### 【理事長 宮代隆治】

前年度は、のまるの大規模改修工事が無事に終え安堵しています。明るい話題の一方、北総育成園では利用者の高齢化が進んでおり、これらは他の事業所やグループホームにとっても差し迫った問題です。様々な援助を必要とする人たちから、更に高い評価を頂戴するために、法人各事業所が一体となって努めていきます。今年度は次の8つの目標を定めて取り組んでいきますので今後ともよろしくお願ひします。

1. グループホームの再編
2. 魔法のランプの事業拡大

3. 相談支援事業における相談支援専門員の増員
4. 職員の確保と育成
5. 積極的な人事異動および交流の促進
6. 防災対策の充実
7. 船橋市手をつなぐ育成会とのパイプ強化
8. 安定した法人運営のために

### 【北総育成園 武井敏朗園長】

今年で45年の歳月が流れ、あと5年で半世紀になります。第1回の育成会の集まりが昭和29年にあり、それから北総ができるまで20年の歳月が必要で、バザーをしてお金を貯めて、市に働きかけ、それから45年が経ちました。私も今年古希となり、保護者の方々も高齢となっておりますが、北総は保護者の方に支えられて成り立っています。

### 【北総育成園 白樫久子副園長】

北総は75名定員で現在72名の方が入所されています。60歳



以上の方は25名、開園時からいらっしゃる方は12名になりました。平成元年度の増築時に25名入所された方が50歳前後になっています。知的障害のある方は50歳を過ぎると心身の老化、低下が見始められます。利用者の方に入院手術が必要な時には、ご家族の同意が必要です。保護者の高齢化が進んでいる中、このこともこれからの課題です。医療的なことも求められ、職員役割も多様になっていきますが、保護者の皆様のお支えやお言葉が職員のモチベーションになっています。これからもご支援よろしくお願い致します。

【のまる 泉 一成 施設長】

建物の改修工事は、外部の賃貸に移ってもらったり仮設を利用しながら無事に完了しました。工事期間中、短期入所の利用はお断りせざるを得ませんでした。が、受け入れを再開しています。ので是非利用してください。

【笹川なずな工房 荒井 道貴】

この4月に就労継続B型から生活介護に事業変更しましたが、自分たちは「就労継続C型」と呼

び、人間にとつての幸せである「役に立つこと」「頼りにされること」「褒められること」を感じてもらえるよう、働くこと生きることを持続しています。

【カメリアハウス 藤藪 正英】

カメリアハウスの就労継続B型の平均工賃は、千葉県の平均には届いていません。しかし、皆さんの生活スタイルやそれぞれの利用目的を中心に考えながら、今後も続けていきたいと思えます。生活介護も相互に刺激を受けながら、無理なく頑張っています。また、建て替えについての議論もあがっていますが、今後の利用ニーズを踏まえ拡張も視野に考えていきたいと思えます。

【ゆたか福祉苑 尾村 勉】

ゆたか福祉苑は、船橋で一番丁寧な支援を目指しています。相手の方を敬うことを大切にしたいという思いの中で、接遇マナー係が生まれました。この係からの発信で、心温まる出来事や明るく楽しいエピソードを日替わりで発表し合う「にやり・ほっと」活動を始めています。

【けいよう 古川 世志恵】

定員40名に対し47名の利用者の方がいらっしゃいます。平均年齢は41.3歳と、年々高齢化は進んでおり、個別対応等の必要性が増しています。そのような中でも、職員皆で意見を交わし色々な工夫を行っています。地域交流を含め新たな取り組みを考えていますので、今後もよろしくお願い致します。

【さざんかキッズ 奥山 裕美】

60名の知的障害児と7名の肢体不自由児の67名と、10名の年少さんの受け入れを予定しております。定員80名のところ77名になります。肢体不自由のお子様は、出席率が低い状況にあります。また、入園児以外にも市内には肢体不自由児はいらっしゃり、支援の手を伸ばすことが課題となります。

【とらのこキッズ・のまのまホームズ 中川 公二】

4月に入園されたお子様たちは徐々に落ち着かれ、これからたくさん楽しさを感じてもらいたいなというところです。

のまのまホームズの入居者様との関わりの中で、成人するまでの過程における多くの経験が生かされているのだなと感じます。このような方々と生活できる幸せを感じています。

【DDホームズ 渡邊 隆宣】

グループホームの再編とのまのまホームズとの連携強化をすすめています。5月から11か所のグループホームを再編して9か所にして運営をしています。現在では、ますますグループホームのニーズが高まっています。対応する人材の確保と合わせて考えていかなければと思います。

【魔法のランプ 山田 朝広】

現在170名の方々の契約をいただいています。個別支援、マンツーマン対応で、ご本人たちが楽しいことを共有しています。児童期から成人期まで関わっていただけるサービスマンなので、利用者の方々の成長を見守れるのはありがたいことだと思っています。20年目を迎え、新たなチャレンジも検討しています。



# ぶら〜りおすすめお散歩スポット

今回は、各事業所が日頃、日中活動で出かけているお散歩スポットに注目してみました！ここ行ってみたい！と思ったら是非、出かけてみてください。新しい発見があるかもしれません♪

ゆたか福祉苑で馴染みの公園と言えば、“高台の公園”や“緑地公園”の名称で親しまれている「高才川緑地公園」です♪  
梨園や竹林を通り抜けるので、マイナスイオンをたっぷり浴びることが出来ます♪

ハイツ公園



とらのこキッズおすすめの大きな坂があるハイツ公園です。  
段ボールをお尻の下に敷いて、滑った後はいつも大笑いです☆

高才川緑地公園



さざんかキッズおすすめの行田公園です！  
さざんかキッズから歩いてすぐの船橋市民の憩いの場。春は見事な桜スポット、お花見で賑わっています。お散歩では芝生を走ったり、去年新しくなったばかりの遊具で遊んだり子ども達は元気いっぱい楽しんでいます。

けいようおすすめの貝柄山公園です！  
虫は多いですが、木陰で涼しいです。真ん中には噴水のある池があります。



行田公園



貝柄山公園

のまるおすすめの、白井総合公園です！  
日陰はありませんが外周を歩いたり、真ん中の芝生を思いっきり走り抜けることもできその時の気分で色々楽しめます。

カメラハウスおすすめの船橋運動公園です。  
緑がたくさんあり、とても気持ちの良い公園です！



白井総合公園



船橋運動公園